



平成 25 年 10 月 4 日
株式会社信貴造船所
TEL072-241-2033

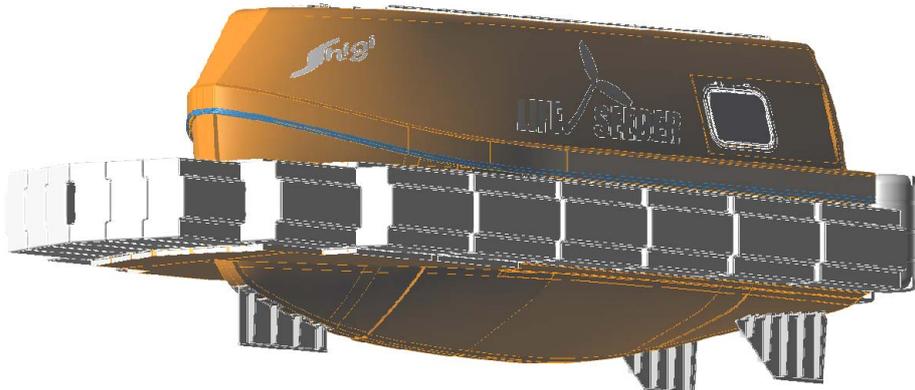
日本の救命艇メーカーが提案する
日本初バリアフリーの津波・水害対応型救命艇 ライフ シーダー
— 新たな設計思想で安全性とゆったり空間を追求 —

「乗って、座って、見て下さい。」 開催:10月10日(木)9時~17時随時 場所:信貴造船所

創業 79 年の救命艇メーカーの株式会社信貴造船所(所在地:大阪府堺市堺区出島西町 3-36、社長 信貴鴻一)はこの度、国の平成 24 年度補正 ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金(中小企業庁)を受け、大阪府立大学の技術アドバイス、水槽実験等により、津波・水害対応型救命艇 LIFE SEEDER を開発いたしました。なお、四国運輸局作成「津波救命艇ガイドライン」申請に向けて最終打合せであります。

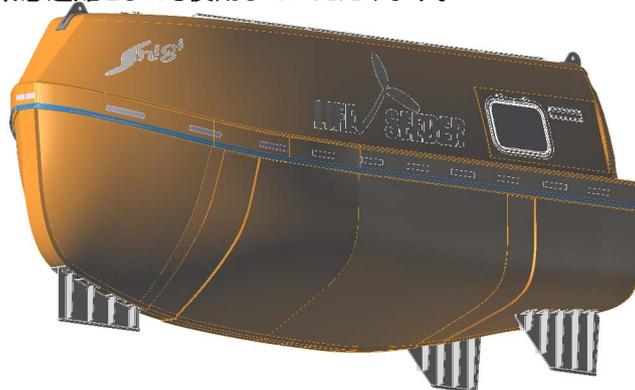
津波・水害対応型救命艇 LIFE SEEDER には Type I と Type II の 2 タイプがあります。

Type I 救命艇に緩衝材を装着する事により、衝突時の衝撃を吸収、搭乗者の安全を確保できます。(津波流速 10m/s を想定)



座席数:25 長さ:8.7m 幅:3.5m 高さ:3.0m 重さ:3.2t

Type II 津波流速が低減される地域への導入を目的とした救命艇。
水害時の緊急避難としても使用していただけます。



座席数:25 長さ:6.7m 幅:2.7m 高さ:3.0m 重さ:2.6t

目 的 今後発生するとされている東海・東南海・南海地震による巨大津波は数分で海岸線に到達し、近隣に高台や高いビルがなく、避難タワーなどの整備が難しい地域住民、特に幼児、高齢者、身障者、病人等の災害時要援護者が遠くまで避難することは困難であり、避難設備の設置が課題となっております。そこで、緊急避難用具として人命を守る一助を成すことを目的に構想から一年、救命艇製造開発技術による陸上設置型の新たな津波・水害対応型救命艇 LIFE SEEDER の開発を進めてまいりました。

津波・水害対応型救命艇 LIFE SEEDER は、救命艇の基本性能である耐衝撃性、浮沈性、復原性、耐火性、断熱性、耐食性、耐光性は勿論のこと、他の類似製品と比べ、次のような優位性、独自性、利便性を有しております。乗って、座って、見て下されば解っていただけのものと確信しております。

記

安全性について

LIFE SEEDER は、津波・水害に対応すべく新たに開発した艇体とFEA解析による艇体の形状に合った緩衝材、その取付アングルの開発により、より一層の衝撃時の人命に対する安全性が確保されております。

ゆったり空間

LIFE SEEDER は、開発段階から災害時要援護者に配慮し、船尾ドアの位置を地上高1mと低くすることによりスロープにて乗艇でき、ドアも大きく、担架等による乗艇しやすさを確保し、艇内は船尾ドアより平面で着座と担架設置を容易にし、バリアフリーが成されております。さらにゆったりとした空間を確保するため、艇内の最大高さ2.0m、最大幅2.3mといたしました。

また仮の居住区、倉庫等としても使用していただけます。

その他

- ①LIFE SEEDER は、三脚を備えた自立型で災害前後とも陸上設置が容易です。
- ②LIFE SEEDER は、艇体上部が平面・すべり止め加工が施されており、ヘリコプターによる救助時には待機場所として使用できます。

なお、救命艇にはエンジンが搭載されておりますが船舶免許の取得、メンテナンス等を考慮し、津波対応型救命艇にはエンジン搭載は行なわないこととなっております。

以 上